

# 臨床研究「双胎妊娠における妊娠高血圧症候群発症予防のための低用量アスピリン有効性の検討」について

筑波大学附属病院産婦人科では、標題の臨床研究を実施しております。本研究の概要は以下のとおりです。

- ① 研究の目的：妊娠高血圧症候群は妊娠中に高血圧や蛋白尿が出現して、お母さんや赤ちゃんに負担を与える病気です。そればかりか、子癇発作や HELLP 症候群、常位胎盤早期剥離など、母児の生命に関わるような病気を起こすことがあります。この病気になる危険が高い方には、「以前の妊娠で妊娠高血圧症候群のため妊娠 34 週より前に早産となったり、子癇発作や HELLP 症候群、常位胎盤早期剥離をおこしたことがある方、高血圧や糖尿病、自己免疫性疾患、慢性腎炎、多胎妊娠の方」がいます。こうした妊婦さんの妊娠高血圧症候群の発症予防には低用量アスピリン投与が有効だと言われています。当院では危険性が高い方に低用量アスピリンについて説明し、希望のあった方に低用量アスピリンの予防投与を行ってきました。本研究では、双胎妊娠に着目し、低用量アスピリンの服用により妊娠高血圧症候群の発症予防効果があったかどうかを検討することで、より良い周産期管理を提案することを目的としています。
- ② 研究対象者：当院で 2019 年 12 月～2021 年 9 月までに双胎を出産された妊婦さん
- ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023 年 3 月 31 日まで
- ④ 研究の方法：診療情報（下記⑤参照）を匿名化（誰の情報か直ちに判別できない状態）し、解析します。
- ⑤ 情報の項目：母体年齢、母体体格、基礎疾患、家族歴、既往歴、妊娠・分娩歴、生活歴、妊娠・分娩経過、分娩結果
- ⑥ 情報の第三者への提供について：ありません
- ⑦ 情報の管理について責任を有する者、研究責任者  
所属：筑波大学医学医療系 臨床医学域 産科婦人科学  
役職：教授 濱田 洋実
- ⑧ 本研究への参加を希望されない場合：妊婦さんや妊婦さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までご連絡下さい。なお、すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。
- ⑨ 問い合わせ連絡先  
筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1  
所属・担当者名：産婦人科 担当 西田 恵子  
TEL：029-853-3073（産婦人科医局）平日 9-17 時